

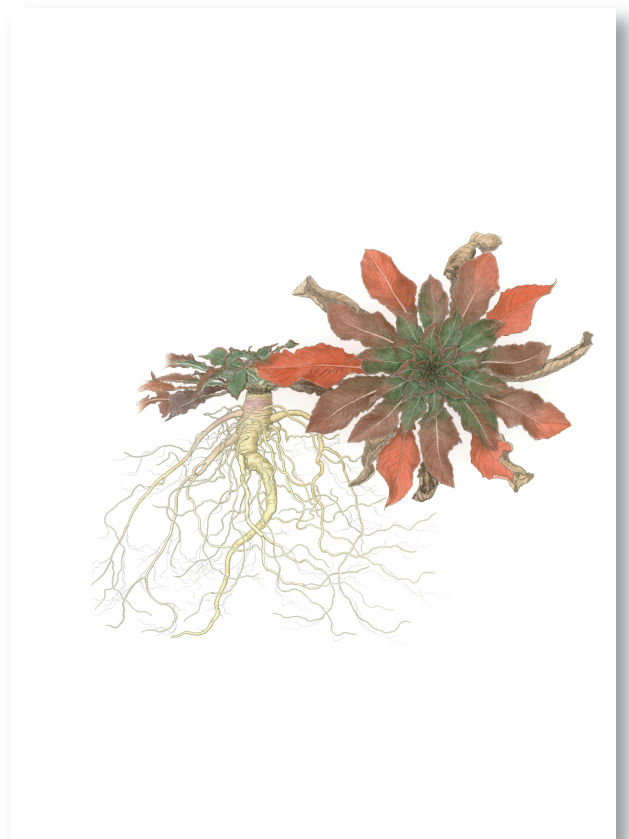
### 第3章 目標とする環境像



*Stellaria aquatica* ウシハコベ



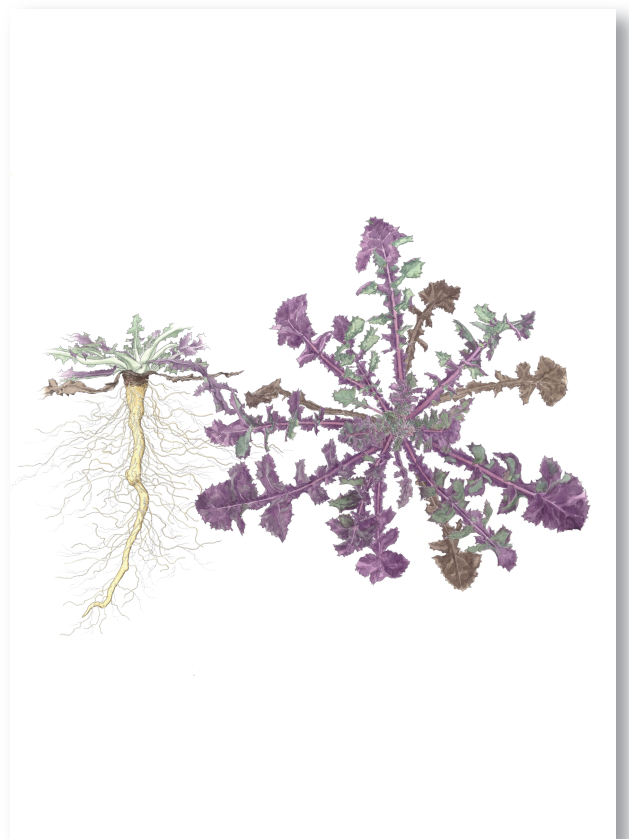
*Conyza sumatrensis* オオアレチノギク



*Oenothera biennis* メマツヨイグサ



*Trigonotis peduncularis* キュウリグサ



*Sonchus asper* オニノゲシ

## 第3章 目標とする環境像

### 3-1 鎌ヶ谷市が目指す環境像

鎌ヶ谷市は、東京都心から近く利便性が高いことから、東京近郊の住宅都市として大きく発展してきました。市街地の整備が進み生活が便利になる一方で、鎌ヶ谷の自然は少しずつ減少し生活環境も悪化しています。

今後は、利便性の高い住宅都市としての発展のなかで、市民一人ひとりが環境に配慮した生活を営みながら、市内に残る林や畑などの環境を守り・育み、未来の世代に伝えていくことを鎌ヶ谷市に暮らす人達が共通に認識し行動する責任があります。

このことから、鎌ヶ谷市の目標とする環境像を「鎌ヶ谷市総合基本計画 一かまがや レインボープラン21-」との整合を踏まえて、次のように掲げます。

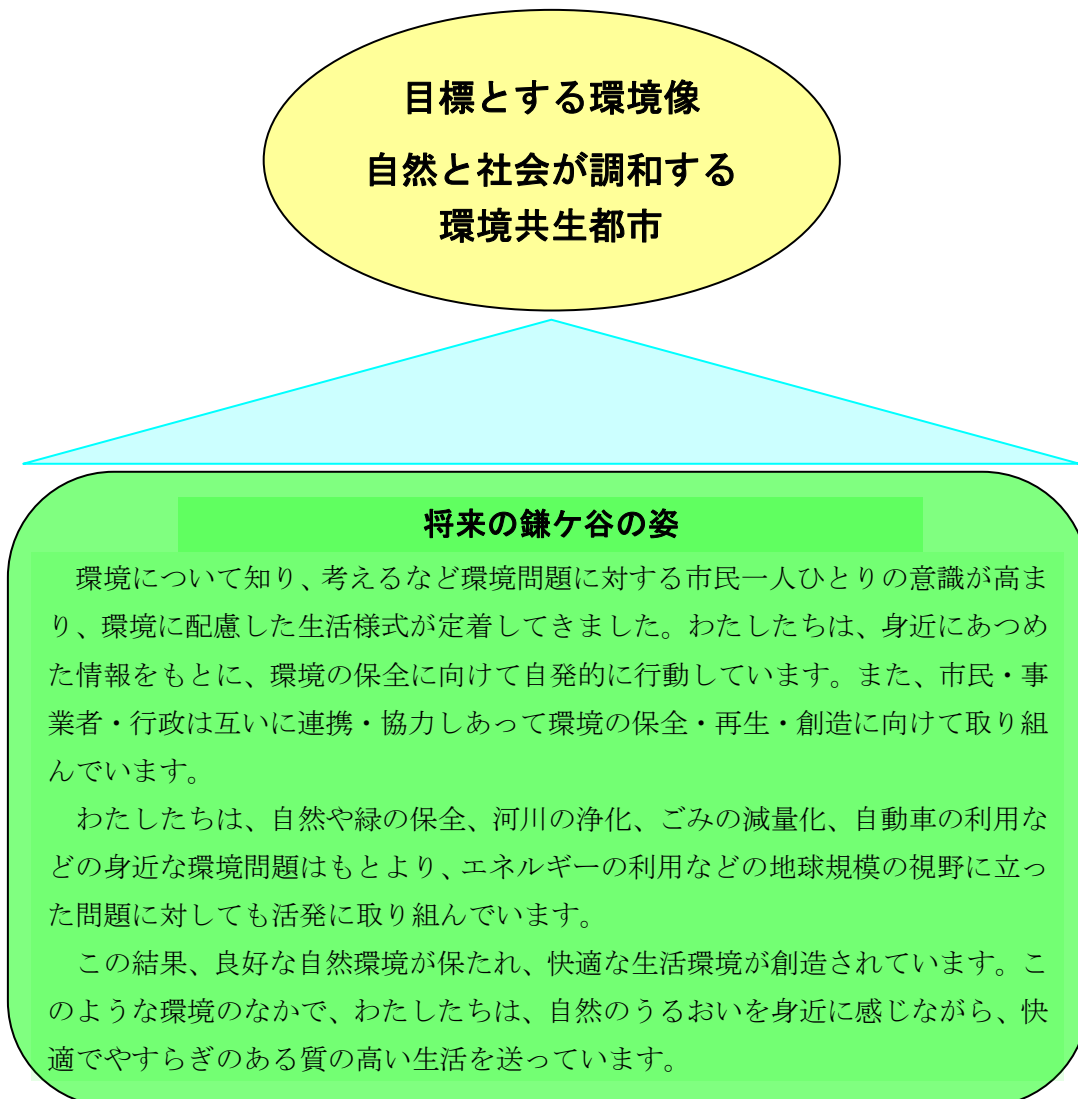


図 3-1-1 鎌ヶ谷市が目指す環境像

### 3-2 重点目標

目標とする環境像の実現に向けて、自然環境の保全や河川の浄化、大気汚染対策、騒音振動対策、ごみの減量化、エネルギー対策など、さまざまな取り組みを進めていく必要がありますが、鎌ケ谷の環境の状況を踏まえて、「生活環境」、「自然環境」、「文化的環境」、「地球環境」、「資源循環」の5つの分野から3つを重点目標として掲げ、取り組みを推進していきます。

#### きれいで豊かな水を育み 身近な水辺と親しめる まち

生活環境については、大気、水・土壌に加わる負荷を持続的に吸収・浄化し、健全な環境を保ち続けることが課題になっています。また、住環境や生活様式の多様化に伴い、騒音、野焼きの煙害や不法投棄などさまざまな日常生活や経済活動による都市生活型公害といわれる新しい公害への取り組みを進めていく必要があります<sup>16</sup>。そして、将来世代が生態系サービスの恩恵を享受できるよう、河川の水質浄化機能の維持と、良好な水辺環境の確保が求められています。

#### 林や畑を守り 緑と身近にふれあえる まち

自然・文化環境については、ふる里の自然と文化とともに豊かな生物多様性を子どもたちや未来の人びとに伝えなければなりません。そのために、鎌ケ谷らしさの源泉であり、多くの生きものを育む樹林地や水辺、農地、果樹園などの緑を可能な限り保全することが求められています<sup>17</sup>。

#### ものとエネルギーを大切につかい 環境負荷の少ない暮らしをすすめる まち

資源循環については、市民の資源の保全に関する意識が高まり、市民・事業者・行政が協働して、ごみ減量化、リサイクルへの積極的な取り組みを進めていく必要があります<sup>18</sup>。

地球環境については、地球温暖化に伴う異常気象と、それに伴う水資源や食料生産の不安定さなども懸念されており、「持続可能な社会」の形成に向けた取り組みが世界共通の課題となっています。また、温室効果ガスの排出量削減<sup>19</sup>、再生可能エネルギーの活用、省資源・省エネルギーなど、低炭素型社会への転換が求められています。

<sup>16</sup> 総合基本計画 後期基本計画 p71 参照。

<sup>17</sup> 総合基本計画 後期基本計画 p71 参照。

<sup>18</sup> 総合基本計画 後期基本計画 p73 参照。

<sup>19</sup> 総合基本計画 後期基本計画 p71 参照。